

事務事業名		食生活改善推進員養成及び育成事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 保健予防活動の充実					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 54 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入	01	04	01	01
根拠法令											
所属	部課名	生活福祉部国保年金課(保健介護センター)									
	係名	保健指導係・予防係	電話	0192-27-3111							
			内線	437							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)					
・食生活を基本とした市民の健康づくりを推進するボランティアを養成するため、食生活改善推進員養成教室を年6回開催する。また、この教室の修了者は、大船渡市食生活改善推進員団体連絡協議会へ加入し、食生活改善推進員として生活習慣病予防料理講習会、高齢者ふれあい料理講習会、研修会、普及講習会、訪問等の活動を行うことにより、地域の食生活推進を図る。						総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
								事業費計(A)	0		
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計(B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
食生活改善推進員養成教室 6回 84人		ア 開催回数	回
食生活改善推進員活動 4,263人		イ 参加者数	人
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
食生活改善推進員養成教室 6回 180人		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
食生活改善推進員活動 1,500人		名称	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		単位	
市民		カ 受講希望者	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ 食生活改善推進員数	人
食生活を基本とした健康づくり推進のためのボランティア養成教室に参加する。また、修了後、食生活改善推進員(ボランティア)としてボランティア活動を実践する。		ク	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
健康に気をつけてもらう。		名称	
		単位	
		サ 食生活改善推進員養成教室修了者	人
		シ 食生活改善推進員数	人
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費内訳	単位						
		千円						
投入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	210	185	95	106	78	63
	事業費計(A)	千円	210	185	95	106	78	63
	正規職員従事人数	人	2	6	2	2	1	4
	延べ業務時間	時間	1,000	460	400	400	30	485
	人件費計(B)	千円	4,000	1,840	1,600	1,600	120	1,940
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,210	2,025	1,695	1,706	198	2,003
活動指標	ア	回	10	10	6	6	6	6
	イ	人	304	158	199	180	49	84
	ウ							
対象指標	カ	人	40	21	16	40	40	17
	キ	人	191	191	191	200	210	144
	ク							
成果指標	サ	人	30	18	14	30	30	11
	シ	人	191	189	191	200	210	144
	ス							

事務事業ID	0293	事務事業名	食生活改善推進員養成及び育成事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和53年に「国民の健康づくり地方推進事業及び婦人の健康づくり推進事業」が開始され、昭和54年に市民の食生活改善を中心とした健康づくりのための栄養教室（現 食生活改善推進員養成教室）を開催し、食生活改善推進員を養成し食生活改善活動を推進している。

事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

現在の参加者は高齢者が多く、若い年代の参加者が少ない。

この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

市民が健康を維持するため食生活を改善し、生活習慣病予防に努めている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由]  ☒ 結びついている [理由]  市民の健康づくり推進	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  ☒ 妥当である [理由]  ボランティアの育成	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  ☒ 適切である [理由]  食生活及び栄養に関する教室として唯一のものであり、現在の食を取り巻く環境等を考慮した場合、食生活改善の啓発普及等を実践するボランティアが必要である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由]  ☒ 向上余地がない [理由]  若い年代に望ましい食生活を普及啓発する。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由]  ☒ 影響有 [その内容]  望ましい食生活、正しい食生活の知識が乏しく、食生活に関心がない人が増加する。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある  (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由]  ☐ 統廃合・連携ができない [理由]  類似事業なし ☒ 他に手段がない [理由] 	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  ☒ 削減余地がない [理由]  今までも削減してきた。これ以上の削減は、内容の乏しさが心配される。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  ☒ 削減余地がない [理由]  栄養士、保健師等で実施し、医師などの講師は最低限としている。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由]  ☒ 公平・公正である [理由]  保健事業の健康づくり推進を普及しているため、参加者の負担はない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	0293	事務事業名	食生活改善推進員養成及び育成事業
--------	------	-------	------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 食生活改善を推進するため、養成教室の受講者を増やし、食生活改善推進員の増加に努める。年齢制限(65歳未満)を取り払う。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 食生活改善推進員養成教室の内容を充実し、食生活改善教室の受講者を増やすことにより、食生活改善推進員を増やし、食生活改善の普及拡大を図る。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 あらゆる機会を利用し、若年層または働く世代へ呼びかけ、食生活改善をととした健康づくりの推進に努める。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	国保年金課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 事業目的・内容等は適切であり一定の成果を得ている。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
